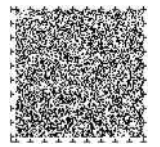


5歳から11歳のお子様の保護者の方へ

〈新型コロナワクチン接種（3回目）のお知らせ〉



3

5歳から11歳のお子様も、 2回目接種が受けられるようになりました。



Q. なぜ追加接種（3回目接種）が必要なのでしょう？

A. 子どもの感染者数の増加とともに、重症者数も増加傾向にあります。初回接種（1・2回目接種）後、時間経過とともに発症予防効果が低下しますが、追加接種（3回目接種）を行うことにより効果が回復すると報告されています。ぜひ、お子様と一緒に3回目接種をご検討ください。

接種の対象と使用するワクチン

- 2回目接種を完了した5～11歳のお子様を対象です。
- 2回目接種を完了し、5か月以上、間隔を空けて接種します。ファイザー社の5～11歳用のワクチンを使用します（※）。（※）ファイザー社の12歳以上のものに比べ、有効成分が1/3になっています。



新型コロナワクチンの効果

Q. 3回目接種をすることで、どんな効果がありますか？

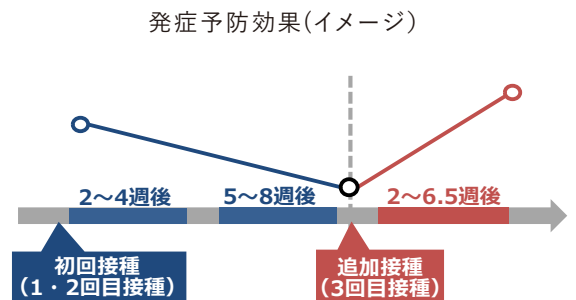
A. 新型コロナワクチンを受けることで、新型コロナに感染しても症状が出にくくなります。5～11歳の子どもに対するワクチンの3回目接種後は、オミクロン株を含む新型コロナウイルスに対する中和抗体価（※）が上昇します。また、近い年齢の子どもにおいて、時間経過とともに低下した初回接種による発症予防効果が、3回目接種により回復すると報告されています。

（※）ウイルスの感染力や毒素の活性を中和できる抗体の値のこと

出典：特例承認に係る報告書

Fleming-Dutra KE, Britton A, Shang N, et al. Association of Prior BNT162b2 COVID-19 Vaccination With Symptomatic SARS-CoV-2 Infection in Children and Adolescents During Omicron Predominance. JAMA. 2022;327(22):2210-2219.

（12～15歳のデータより作成）



新型コロナワクチンの安全性

Q. 3回目接種を受けた後は、2回目接種の後と比べてどんな症状が出ますか？

A. 5～11歳の子どもに対する3回目の接種後7日以内の副反応は、2回目接種の後と比べると、おおむね同様の症状が見られ、2回目接種時を上回るリスクは報告されていません。

■ 5～11歳の接種後7日間に現れた症状発現率の比較（ファイザー社ワクチンを使用）

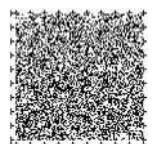
報告割合	接種後の症状（2回目接種後→3回目接種後の症状の発現率）		
50%以上	疼痛（72.2→73.9%）		
10～50%	疲労（46.6→45.6%）	頭痛（30.1→34.0%）	筋肉痛（12.5→18.3%）
	発赤（16.5→15.6%）	腫脹（14.0→16.4%）	悪寒（10.3→10.5%）
1～10%	発熱（8.8→6.7%）	関節痛（5.5→6.7%）	下痢（6.5→4.9%）
	嘔吐（1.8→2.4%）		

出典：特例承認に係る報告書



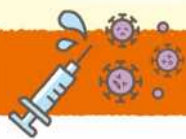
5～11歳用のワクチンがオミクロン株流行下でも有効であるとの最新情報を踏まえ、5歳から11歳のお子様にワクチンを受けていただけるよう、ご本人とその保護者の方に努めていただくことになりました。これは、国民の皆さまに接種にご協力いただきたいという趣旨によるものであり、接種を強制するものではありません。

←詳しくは厚生労働省ホームページQ&Aをご覧ください。



5歳から11歳のお子様へ

新型コロナウイルスワクチン接種(3回目)についてのお知らせ



新型コロナウイルスワクチンをなぜ受けるの？

人の体の中に新型コロナウイルスが入りこみ仲間が増えると、
 ねつ、だるさ、せき、息ぐるしさ、頭のいたみ、味覚の変化などがおきて、
 体の調子が悪くなります。
 ワクチンを受けると、体の中で新型コロナウイルスとたたかう用意ができる
 ので、ウイルスが体に入っても、体の調子が悪くなりにくくなります。



新型コロナウイルスワクチンを受けるときは、どんなことに注意すればいいの？

<p>受ける前</p>	<p>37.5℃以上のねつがあるときや、体の調子が悪いときは、 ワクチンを受けられないので、そのことをおうちの人に伝えましょう。</p>	
<p>受ける時</p>	<p>ワクチンは肩の近くに注射します。肩を出しやすい服で、受けに行きましょう。</p>	
<p>受けた後</p>	<p>◎ ワクチンを受けた後、15分以上はすわって様子をみましょう。(30分様子をみる場合もあります)</p> <p>◎ ワクチンを受けると、右のような症状が出るがありますが、2～3日で自然とよくなるのがわかっています。</p>	<p>◎ 当日はお風呂に入るなど、いつも通りの生活をするのは問題ありませんが、激しい運動はやめましょう。</p> <p><input type="checkbox"/> ねつ <input type="checkbox"/> さむけ <input type="checkbox"/> だるさ <input type="checkbox"/> 気持ちわるさ <input type="checkbox"/> 頭のいたみ <input type="checkbox"/> おなかをこわす</p>

こんな症状が出たら、おうちの人や周りの大人に知らせましょう。

● 受けたすぐ後

- 体のかゆさ
- せき



● 受けた日や4日くらいの間

- ねつ 頭のいたみ 胸のいたみ 息ぐるしさ
- だるさ さむけ 胸がドキドキした感じ



2回目のワクチンを受けた後、

5か月以上の間をあけて、3回目を受けてください。



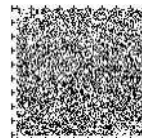
守ってほしい、大切なこと。

ワクチンを早く受けている人や、ワクチンを受けられない理由がある人など、様々な人がいます。ワクチンを受けている、受けていないといった理由で周りの人を悪く言ったり、いじめたりすることは、絶対にしてはいけません。





愛知県で5歳から11歳のお子様がワクチン接種を受けるには



- ◎ **お子様のワクチン接種には、保護者の方の同意と立ち会いが必要です。**
ワクチンを受ける際には、感染症予防の効果と副反応のリスクの正しい情報を確認し、お子様とご相談のうえ、保護者の方が接種をご判断ください。保護者の方の同意なく、接種が行われることはありません。
- ◎ **ワクチンについての疑問があるときは、かかりつけ医にご相談ください。**
新型コロナワクチンと同時または前後2週間は、インフルエンザワクチンを除き、原則として、他のワクチンを受けることはできません。
- ◎ **市町村が設置する接種会場で、接種を受けていただけます。**
予約方法など詳細については、お住まいの市町村へお問い合わせください。
- ◎ **愛知県の大規模集団接種会場でも、お子様へのワクチン接種を行っています。**
お子様へのワクチン接種を行う大規模集団接種会場は、以下の4会場です。

	名古屋空港 ターミナルビル	藤田医科大学	藤田医科大学 岡崎医療センター	愛知医科大学 メディカルセンター
所在地	豊山町	豊明市	岡崎市	岡崎市
期間	2022年9月24日(土) ～2023年3月18日(土)	2022年9月24日(土) ～2023年3月25日(土)	2022年9月26日(月) ～2023年3月27日(月)	2022年9月24日(土) ～2023年3月25日(土)
時間	(土曜) 午後2時30分～午後7時	(土曜) 午前11時～午後1時	(月曜) 午後3時～午後5時	(土曜) 午前10時～午後3時

※ 2022年9月20日時点。

予約の際は、最新情報を下記の「【小児接種】ワクチン大規模集団接種会場について」よりご確認ください。



「【小児接種】ワクチン大規模集団接種会場について」

URL→<https://www.pref.aichi.jp/site/covid19-aichi/shounikaijou.html>

予約については、県のLINE予約システム又はコールセンターで受け付けています。

<LINE予約システム(24時間受付)>

- ・ID「@aichipref」で検索又は右記の二次元コードを読み取り、愛知県公式アカウントを友だち登録して、予約をしてください。



<愛知県大規模集団接種会場予約コールセンター>

電話番号 0570-666-885 (午前9時から午後5時まで)

愛知県からのお知らせ

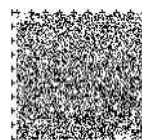


- ◎ 愛知県では、新型コロナワクチンの正しい情報をホームページで周知しています。



「新型コロナワクチンについて」

URL→<https://www.pref.aichi.jp/site/covid19-aichi/wakuchinsessyu.html>



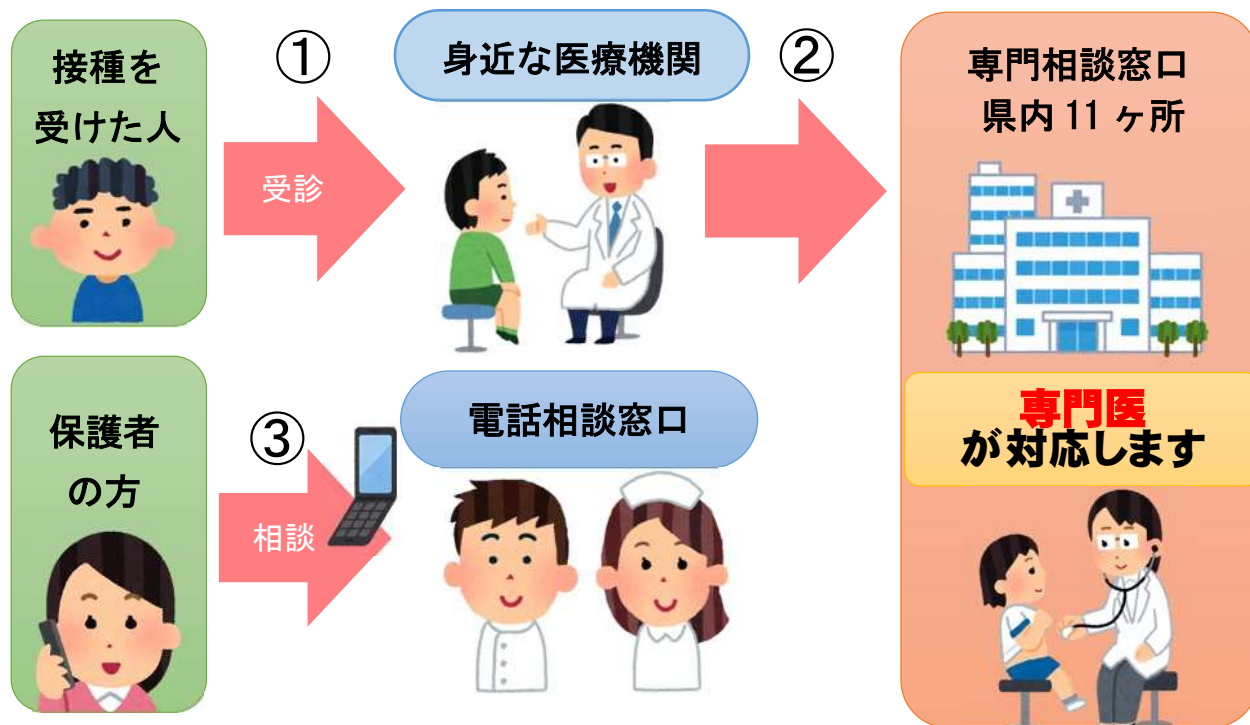
愛知県のワクチン接種後の副反応への取り組みについて

◎ ワクチン接種後の副反応等に対応する医療体制について

ワクチン接種後に、体に異常がみられる等、副反応と思われる症状が出た場合は、

- ①まず、**かかりつけ医等、身近な医療機関へご相談**ください。
- ②身近な医療機関が、専門的な対応が必要と判断した場合、**診察した医師が県の設置する専門相談窓口をご紹介します**。
- ③また、愛知県では、ワクチン接種や接種後の副反応等に関する相談にお答えする、**電話相談窓口を設置**しておりますので、ぜひご利用ください。

<愛知県の医療体制イメージ図>



◎ 新型コロナワクチン副反応等見舞金について

支払った医療費等の経済的負担を支援することを目的に、新型コロナワクチン接種後の副反応（副反応疑いを含む。）の症状により医療機関で治療を受けた県民の方を対象に、県独自の見舞金を支給しています。詳しくはホームページをご覧ください。



URL→<https://www.pref.aichi.jp/site/covid19-aichi/hukuhannoutoumimaikin.html>

**不安や疑問に思うことがあれば、お気軽にご相談ください。
看護師が24時間電話相談を受け付けています。**



<愛知県新型コロナウイルス感染症健康相談窓口>

○052-954-6272 毎日：午前9時から午後5時30分まで
○052-526-5887 平日：午後5時30分から翌午前9時まで
土曜日、日曜日、祝日：24時間

